



## 校長室から応援メッセージ(その8)

令和6年1月8日(月)

いよいよ今週末、共通テストが実施されます。被災地の受験生のことを慮りつつ、皆さんは自分の最善を尽くしましょう。当日を迎えるにあたっての心構えとして、次の4点を皆さんにお伝えします。ふたたび干支の語呂合わせになり、とても恐縮です。

**たくさん**の思いを飲み込んで臨む、それが入学試験です。ますます緊張が高まり、十分な準備ができてきたのだろうかという不安も重なります。さまざまな思いは飲み込み、そのまま試験会場に持っていきましょう。緊張と不安は受験の大切なエネルギーです。

**つい**に来た、この日を待っていたぞ、とつぶやきましょう。試験初日の朝がやってきます。待っていても待っていなくてもその日はやってきます。どうせなら自分から迎えに行くくらいの気持ちでいきましょう。その日を迎えに行きたい、という日がある。これは幸せなことです。

**どれ**が正解なの？ 自分が選んだものが正しいのです。試験中には雑念などおそらく消え、集中しています。しかし自分を信じて試験に向かっているかどうかは、雑念とは別の話です。自分を信じるのです。自分が選んだものが正解…これは大切な思い込みです。

**しめしめ!**とか、しまった!とか、試験後には禁句です。試験のあとは、ただ淡々と勉強再開あるのみです。どうしても言ってしまうがちなこういう言葉は、この先の長い人生のために大事にとっておきましょう。「しめしめ」と「しまった」は、春まで封印です。

共通テストまでの数日を、またテスト後の新たな日々を皆さんはどのような気持ちで過ごすのでしょうか。皆さんがこれから経験するすべての瞬間が、生涯にわたり皆さんを励ますのです。私は心からそう信じ、応援しています。

